

《記 事》

## 人間社会学科記事

『明星大学 社会学研究報告』は、明星大学人文学部人間社会学科が学生の研究活動を記録し、公開するために毎年刊行を続けているものです。これが第46集になります。各ゼミから優秀論文を選び、今回は計12本の卒業論文がこの研究報告に収められています。

この第46集は、下平好博先生にとりまとめをいただき、共同印刷所の岡本学さんに編集、製本などを務めていただき、刊行することができました。ありがとうございました。

優秀卒業論文は、前45集から、明星大学学術機関リポジトリ (<https://meisei.repo.nii.ac.jp/>) をつうじて、オンライン上で全文が読めるようになっています。読み継がれていくことを願っています。

卒業論文を読むと、人間社会学科での学びを通じて、学生はどんな社会問題や社会現象に関心を持ち、深め、今という時代をどうとらえ、問題提起をしたのかが見えてきます。卒業論文は必修科目です。テーマ選びから自分たちでおこない、学んだ社会調査の手法も活かしながら、2万字以上の論文を書き上げていきます。

明星大学では2027年度から授業内容を一新したカリキュラム改定を行う準備を進めています。人間社会学科でも、卒業時にどんな力をつけた学生を育てていきたいのかというところにも立ち戻りながら、どんな授業をどう配置していくのか検討を進めています。人間社会学科がもつ強みを活かしつつ、刷新する授業もありますが、卒業論文を書き上げるというのは、これからも必修として続けてまいります。

2024年4月から花形美緒先生に学科の専任教員にくわわっていただき、専任9人態勢で運営してきました。学科資料室では福井政央さんに学科運営事務を支えていただいています。人文学部では人間社会学科の熊本博之先生が2024年4月から学部長に就任しました。18歳人口の減少を受け入試は厳しい状況が続いていますが、人間社会学科は定員80名のところに、2023年度は115名（定員充足率144%）、2024年度は99名（定員充足率124%）の入学者を迎えることができました。これからもよろしくお願いいたします。

2024年度 学科主任 竹峰誠一郎

## 2024年度 卒業論文題目【第58期生】(2025年3月卒業)

氏 名	指導教員	卒論題目	氏 名	指導教員	卒論題目
上地 直希	天野	VUCA時代とアノミー的自殺	林 佑磨	元治	ファッションモデルと体型に関する研究
佐藤 利果	本多	趣味の共有の場を超えた現代のファンコミュニティ	吉村 裕音	下平	サブカルチャーオタクの分析

氏 名	指導教員	卒論題目	氏 名	指導教員	卒論題目
青山 幸樹	熊本	「郊外」に着目したコンパクトシティ政策の可能性～富山県 富山市を事例に～			な発展－佐久と小諸を中心に－
秋本康太郎	熊本	目的意識の高低と求められるマナー－2つのトレーニングジムの比較を通して－	川本 千秋	竹峰	見えづらい福島原発事故の被害－アートがつくる「おれたちの伝承館」－
安齋 史音	本多	バンドファンによるコミュニティの形成－距離と非日常性に着目して－	木村 海斗	鷺沢	コーヒー産業の闇 －貧困と不平等の現実－
池田 陸人	荒井	厳しい優しさ－子供の教育のために必要なこととは－	黒田彩都美	荒井	自己表現としてのInstagram利用－SNS時代の承認欲求に関する研究－
伊東 輝久	元治	「ヤングケアラーの現状と課題」	小嶺 天汰	元治	女性医師が少ない要因に関する研究
井上 星那	天野	ポップカルチャーから見た価値観とコミュニケーション	小山 柊人	鷺沢	固定的な性規範から自由になるために
井上 悠馬	熊本	風俗業から見える地域と人々	小山 遥子	本多	きょうだい児の葛藤にみる現状と課題
今枝 洸貴	寺田	学校教育から考えるジェンダー平等～過去のあゆみ・現在の実態・将来への展望～	小山 裕輝	下平	若者と年金～若者がいかに将来展望を失ったかについての一考察～
植松 溪太	鷺沢	高校サッカー部員のモチベーションに関する一考察	今 隼磨	荒井	メンズファッション論争－外見に現れる価値観－
白居 遼河	竹峰	なぜ水俣病と向き合い続けるのか－「相思社」職員に聞く－	近藤壮太郎	本多	SNSが与える若者のコミュニケーション能力への影響
遠藤 大夢	寺田	特撮作品からみるリーダーシップと組織経営－『仮面ライダーBLACK』シリーズから考える－	西方 翔	元治	ジェンダー格差と幸福度の関連
大内田 柊	元治	子どもの経済的状況に対する認識と経済的状況がいじめに与える影響について	坂本 成	寺田	地域を拓くコミュニケーションカフェ －「つながり」を創り広げる場の意義－
大澤 悠斗	荒井	人間社会学科で教員を目指す	佐久間 柊	鷺沢	幸福に関する一考察
大中はるひ	熊本	在沖米軍基地をめぐる認識の乖離	佐藤 湧樹	天野	情報社会におけるZ世代の恋愛観－マッチングアプリ普及による恋愛行動とその影響
			下田 彩水	竹峰	すぐに結果を求めない－国内外の環境活動家をたずねて－
大和田 駿	熊本	整備新幹線がもたらす不均等			

氏 名	指導教員	卒論題目	氏 名	指導教員	卒論題目
鈴木 裕貴	寺田	部活動が就職活動に与える影響の研究－明星大学硬式野球部の事例を通して－	橋本 七海	荒井	なぜ推し活に熱中するのか：女子大生へのインタビューを中心に
千田 凜	荒井	なぜ若者はナンパをするのか	長谷本尚大	鷗沢	男性と育児－第二次社会化の可能性－
染矢 楓	荒井	位置情報の共有疲れに関する社会学的研究	林 良樹	荒井	リアルとリアリティーの反転－SNSの発展は若者の人間関係構築にどのような影響を与えたのか－
平 英士	荒井	思春期ニキビが本人に与える影響	平川 雄大	本多	若者はなぜギャンブルから離れるのか－パチンコ経験者へのインタビュー調査から－
平良 草拓	天野	建設DXは建設会社のカルチャーを変えるか	藤井 栄光	竹峰	「おかえり」という言葉－非行少年Mのライフストーリー－
田中 衣路	下平	幸福感を決めるものは何か	藤田 明希	鷗沢	アパレル業界における環境負荷と労働問題－その実態と課題－
田中 大翔	本多	バーチャルアイドルの魅力とファン文化－3次元アイドルとの違いに焦点をあてたファン心理の分析	藤原 日向	竹峰	内在する差別意識をみつめて－自立ステーションつばさに集う障害者からの問い
田中 風花	熊本	障害者の自己決定権から考える地域移行の壁	船木 颯太	本多	大学生が「付き合う」条件－男女差への着目から－
土屋 陽	熊本	市民のスポーツ参加とスポーツ政策～多摩市を事例に～	船田 美祐	本多	現代の「かわいい」とは何か－「ちいかわ」ブームへの着目から
露木 真弥	天野	関心縁に基づく郊外コミュニティ形成の可能性について－ある地域スポーツクラブの活動を事例として－	前田 航大	熊本	海技人材確保策の再考－若者の労働観に着目して－
寺嶋 知希	竹峰	福島原発事故のその後を生きる－戻らない県外避難者－	牧田 侑馬	竹峰	過酷な労働環境のなかで～支援者とつながるために～
富岡 和輝	寺田	生育環境におけるコミュニケーション能力の変化	松本 鳩	本多	同棲する若者たち－カップルの共同生活における目的と実態－
中村 麻南	鷗沢	シングルマザーとその子ども－抱える課題と支援方法－	丸山 拓巳	寺田	現代アメリカ黒人差別におけるBLMの役割と影響
中山 颯人	本多	体育会学生の就職活動における強みと課題－人間関係と時間への着目から－	村上 冬倭	寺田	「トー横」の象徴的価値
野本 文咲	竹峰	恋愛・性愛を必要としない生き方－不可視化された当事者の声に耳を傾けて－			

氏 名	指導教員	卒論題目
毛利 俊太	寺田	悪役の魅力とは何かー人気の高いキャラクターの分析を通じてー
山崎 快	寺田	現代における喫煙の意義ー禁煙の風潮とタバコの魅力ー
山崎 翼	竹峰	スマートフォン依存症：誰もがなりうる現代病の「薬」を求めて
山田駿一郎	元治	生まれた環境における教育格差
山根 萌子	鵜沢	駄菓子屋はサードプレイスカーその歴史、魅力と可能性ー
山本 優月	寺田	若者は「恋愛」をいかなるものと捉えているのか？
横山 遥香	鵜沢	コミュニティ・ビジネスが生み出す地域とのつながり～調布市の事例から～
横山 紅葉	元治	中高生時代のスクールカーストによる学校生活充実度及び職業選択への影響
米村 果純	元治	中学生時代及び直近３年間のマンガ読書経験による現在の活動意欲への影響
渡邊 采子	荒井	教職課程学生の「スクールカースト」認識についての社会学的研究
渡邊 美優	本多	ディズニーアニメーションで扱われる家族像と女性像の変化
西郷 光瑛	荒井	なぜ若年層男性にとって美容は重要なのか：男子大学生へのインタビューを基に